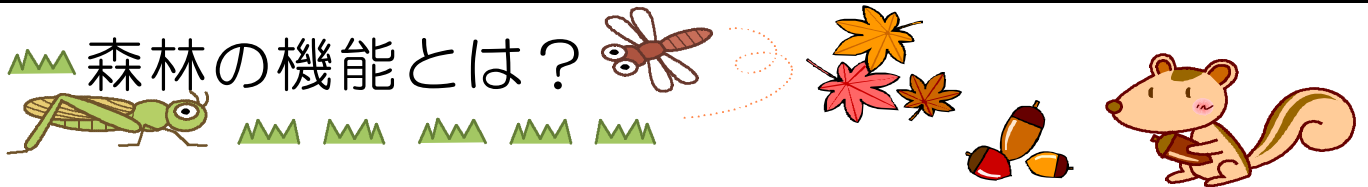


礼文の森から

宗谷森林管理署
礼文森林事務所



森林の持つ機能を皆さんはご存知でしょうか。

森林は、人の手を加えるなどにより健全な状態を維持しなければ、本来持っている機能を十分に発揮できません。林野庁では、森林の持つ機能を十分に発揮できるよう国有林の管理経営を行っています。そこで、林野庁が何の為に業務を行っているか分かってもらえるよう、複数回に分けて、森林の持つ機能を皆様を紹介していこうと思います。今回は第2回目です。

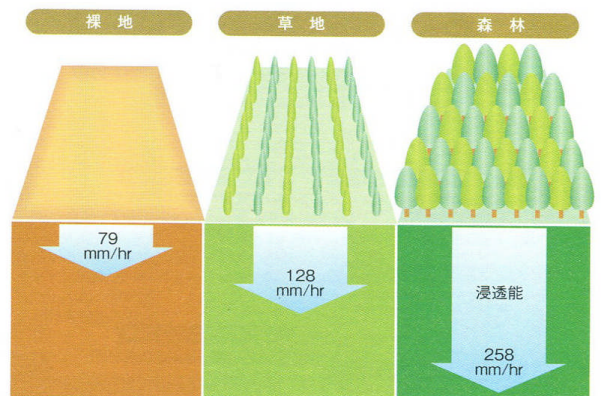
② 森林は洪水や濁水を緩和します

森林は、落葉・落枝などの堆積物や土壌生物が多くすむ表土がスポンジのようになって、雨水を速やかに地中に浸透させる働きがあります。その能力は裸地の3倍という報告があります。この機能により雨水はゆっくりと河川に流れることから、洪水や濁水が緩和されます。このようなことから森林は「緑のダム」と言われています。

船泊中学生の職場体験学習を行いました

9月8日、9日の2日間にわたり、礼文森林事務所で船泊中学生1名を迎え、職場体験学習を行いました。2日間で、アカエゾマツの植付け、植栽木の生育の支障となる雑草や笹を刈払う作業である下刈り箇所の検査、山にどれくらいの材積、本数の木があるのかの調査、植栽木に被害を与える野鼠の個体数の調査等を行いました。

職場体験を終え生徒の感想を頂きましたので、紹介します。



「普段では体験できないことが体験できて良かったです。礼文の今の自然のことや木の種類等を教えてくれたので、木に興味を持ってました。これから勉強していきたいと思います。また、礼文では森林に関する授業、林野庁の業務についての授業が、あまりないので、小学校等、広く授業ができる機会があれば良いと思いました。」



少しでも多くの方に林野庁の業務を理解して頂ければと思っておりますので、林野庁の業務に興味のある方がいれば、是非お声をかけ下さい。植樹、下刈り体験等、体験してみるのも面白いと思います。

左上：アカエゾマツの植付け体験
左下：植付けの検査
右：木の直径を測っている様子